

4. 阿蘇草原再生募金による助成支援活動報告

■募金状況

阿蘇草原再生協議会では、かけがえのない阿蘇の草原を幅広い人々の力で守っていく仕組みのひとつとして、平成22年11月から阿蘇草原再生募金の活動を開始。平成25年度末までを「第1期募金」、その後の3年間を「第2期募金」として募金活動に取り組み、平成28年4月からは第3期募金の活動を進めています。

募金活動開始から平成29年3月までに集まった寄付金は合計1億800万円を超えました。

募金の状況

期	期間	件数	募金額 (利息含む)
第1期 (3年間)	H22.11月～ H25.3月	4,092件	70,385,083円
第2期 (3年間)	H25.4月～ H28.3月	764件	32,591,007円
第3期 (1年目)	H28.4月～ H29.3月	125件	5,200,618円
計	H22.11月～ H29.3月	4,981件	108,176,708円

■第3期募金の取り組み

第3期募金では、「広く、薄く、継続的」に募金活動を進めるために、構成員の積極的な協力による街頭募金活動や寄付金付きカードの普及拡大をはじめ、幅広く取り組んでいく仕組みを工夫するとともに、平成28年4月に発生した熊本地震からの草原(牧野)の復興も視野に入れて、様々な活動を進めていきます。

【第3期募金の目標】

- ・期間：3ヶ年
(平成28年4月～平成31年3月)
- ・目標額：2,500万円～3,000万円
(3年間)

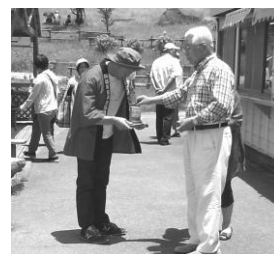
【第3期募金の進め方】 基本スローガン：「阿蘇草原の復興と再生を進める」

1) 街頭募金活動

- ・阿蘇草原再生協議会の取り組みを、協議会構成員自らがアピールし、協力・支援の輪を広げていくための活動として、春と秋に草原景観が良い観光地で街頭募金活動を実施します。

◇街頭募金活動ー平成29年6月までの活動実績(募金キャンペーン)

年度	実施日	実施場所	寄付額	参加
H28年度	10月29日(土)	阿蘇北外輪山大観峰(阿蘇市)	73,945円	35人
	10月30日(日)	草千里駐車場(阿蘇市)	48,705円	18人
H29年度	6月17日(土)	阿蘇北外輪山大観峰(阿蘇市)	64,247円	34人
	6月18日(日)	俵山交流館 萌の里(西原村)	82,383円	32人



2) 募金箱の取り組み

- ・阿蘇草原再生募金の募金箱は、これまで阿蘇郡市内に約120カ所に設置されていますが、平成29年度からは阿蘇郡市内各種団体(※)との連携により、連名の募金箱として再スタートしました。

(※) 阿蘇草原再生協議会、阿蘇草原再生千年委員会、阿蘇地域世界農業遺産推進協会、阿蘇ジオパーク推進協議会、阿蘇世界文化遺産登録推進協議会



3) ワオンカードの普及拡大

- ・ワオンカードは、利用額の0.1%が阿蘇草原再生募金に寄付されます。平成23年度から5年間の販売枚数は約3万3千枚、草原再生募金への寄付金額は728万円。利用者にとってもポイント蓄積などのメリットがあり、今後も利用を拡大していきます。

◇ワオンカードによる寄付額

利用年度	寄付額
H23年度	600,883円
H24年度	1,433,795円
H25年度	1,737,777円
H26年度	1,780,403円
H27年度	1,734,526円
計	7,287,384円

4) クオカード、自動販売機拡大の取組み

○「阿蘇草原とくまモン」Q u oカード

- ・クオカードは1枚530円で販売され(実質500円)、1枚につき2円が草原再生募金に寄付されます。
- ・平成24年から5年間で約45万8千枚、寄付額は229万円を超えており、今後も販売促進を図っていきます。

◇クオカードによる寄付額

販売時期	販売枚数	寄付額
H24年	43,926	219,630円
H25年	101,628	508,140円
H26年	94,315	471,575円
H27年	74,162	370,810円
H28年	144,174	720,870円
計	458,205	2,291,025円

○協賛自販機

- ・協賛自販機の設置は現在9ヵ所、今後も設置個所を増やしていきます。なお、自販機による年間手数料収入の実績は、9台で約62万円、1台あたり約5万2千円となっています。

◇自販機設置場所

①阿蘇市役所本庁舎	②阿蘇市役所別館	③阿蘇草原保全活動センター
④西原村構造改善センター		⑤俵山交流館萌の里
⑥阿蘇広域行政事務組合消防本部		⑦⑧⑨熊本県家畜市場(3台)

5) 企業・団体等への働きかけ

- ・地元企業や九州、県内の企業への働きかけを、市町村や千年委員会などの協力を得ながら進めていきます。

6) インターネットを活用した普及・啓発の仕組みの具体化

■募金による助成成果

阿蘇草原再生の活動を支援するために、平成23年度から平成27年度までは毎年1000万円以上を助成。平成28年度は、阿蘇草原保全支援システム(H27年3月創設)による支援もあり、募金による助成は1000万円未満となっています。これまでに行われた助成の概要は下表のとおりです。

◇募金を活用した助成の概要

助成時期	助成の大枠	募集期間	助成先決定	活動実施期間	助成額
第1期	第1弾 ・対象(指定枠のみ) *草原維持管理の継続、草原を守る担い手づくり(草原環境学習)	H23.7月 ~8月	第13回協議会 (H23.9.6)	H23.9月~ H24.3月	1,148万円 (実績)
	第2弾 ・対象(指定枠、自由枠) *草原維持管理の継続 *生物多様性保全 *草原環境学習の推進	H24.1月 ~2月	第14回協議会 (H24.3.14)	H24.4月~ H25.3月	1,196万円 (実績)
	第3弾 ・対象(同上) *災害復興支援枠設定	H25.1月 ~2月	第16回協議会 (H25.3.12)	H25.4月~ H26.3月	1,364万円 (実績)
第2期	第4弾 ・対象(指定枠、自由枠) *草原維持管理の継続 *生物多様性保全 *草原環境学習の推進	H26.2月	第18回協議会 (H26.3.13)	H26.4月~ H27.3月	1,015万円 (実績)
	第5弾 ・対象(同上)	H27.1月 ~2月	第20回協議会 (H27.3.17)	H27.4月~ H28.3月	1,093万円 (実績)
	第6弾 ・対象(5区分) ①繁殖あか牛の導入支援 ②野焼き放棄地の草原再生 ③草原維持管理の継続 ④生物多様性保全 ⑤草原環境学習の推進	H27.12月 ~H28.1月	第22回協議会 (H28.3.12)	H28.4月~ H29.3月	840万円 (実績)
緊急支援	熊本地震からの復旧・復興に向けた緊急支援(草原の復興と野焼きの継続に関連する事業)	H28.12月 ~H29.1月	第61回幹事会 (H29.2.3)	H28.2月~	330万円 (見込み)

注:「指定枠」は、活動項目ごとに予算を決めて支援対象を募集する助成枠であり、「自由枠」は、活動の項目を指定せず、自由に申請が可能な助成枠を指している。第6弾は指定枠・自由枠を設けず、5項目の活動区分で募集。

■第6弾助成の結果

平成28年度の活動を対象とした第6弾助成の交付実績は下表のとおりです。

◇第6弾助成実績（活動実施期間：平成28年4月～平成29年3月）※第22回協議会で助成先決定
※繁殖あか牛助成のうち200万円は阿蘇世界農業遺産基金の協力による

	活動区分	助成対象等	交付額(実績)
1	繁殖あか牛の導入	48農家・73頭	4,380,000
2	野焼き放棄地の草原再生	小倉原牧野組合（高森町） *放牧地に隣接する採草放棄地8.6haの再生	200,000
3		西湯浦草原再生委員会（阿蘇市） *大規模野焼き（約45ha）再開事業4年目（H25年度から実施）	250,000
4	野焼き支援ボランティアの運営管理	（公財）阿蘇グリーンストック *野焼き支援ボランティアの運営管理事業	2,000,000
5	様々な動植物が生息・生育する草原環境の再生	湯浅陸雄（阿蘇ホテルの会） *「草根力」調査活動	63,000
6		増井太樹（岐阜大学流域圏科学研究センター） *草原再生の効果把握のための植生モニタリング調査	257,281
7		（公財）阿蘇グリーンストック *井手牧野における生物多様性保全実証事業の継続	300,000
8		（公財）阿蘇グリーンストック *北外輪地域生物多様性保全事業計画案策定事業	400,000
9	草原を守る担い手づくり（草原環境学習の推進）	新宮牧野組合（阿蘇市） *草原を守る担い手づくり、草原環境学習の推進	100,000
10		瀬の本松並木を守る会（南小国町）*荒廃した古道整備とその周辺の草原再生による地域の宝の保全活動の継続と活性化	200,000
11		横川洋 *阿蘇草原再生のランドデザインを描く・その基礎研究	250,000
合計			8,400,281
あか牛導入を除く 計			4,020,281

■熊本地震からの復旧・復興に向けた緊急支援の実施

平成28年熊本地震により草原（牧野）が大きな被害を受けるなか、牧野（原野）に関しては行政等による復旧支援が行き届かない場合が多いことから、「草原の復興と野焼きの継続に関連する事業」として募金を活用して緊急支援を実施。予算枠は400万円、1事業/牧野あたり50万円を上限として募集、申請があった10件のうち、査定により7件、計330万円（見込み）の助成を決定しました。

◇緊急支援による助成額（見込み）

	活動区分	助成対象等	助成額(見込み)
1	西湯浦牧野組合（阿蘇市）	◇西湯浦牧野熊本地震災害復旧事業（幹線道路） ・幹線道路の路肩復旧補強と牛馬移送時の昇降場の復旧	500,000
2	西湯浦草原再生委員会（阿蘇市）	◇大規模野焼き再開事業（熊本地震消防水源復旧） ・水源地周辺の地割れ、段差を造成復旧し水源水の集水誘導を行い施設管理道路の亀裂等の修復を行う	360,000
5	一区牧野組合（阿蘇市）	◇一区牧場放牧場内の水道工事 ・水道パイプ約150mを掘り出し、被害箇所を新しく交換。	500,000
3	下碓牧野組合（南阿蘇村）	◇水槽設置（一基） ・牧野の一番上の牧区（野草地）の水槽を5月以降の放牧に向けて設置。	441,720
4	下市牧野組合（南阿蘇村）	◇下市牧野内野焼き復興と採草（放牧）復旧 ・ボランティアの増員により野焼き実施。その後、鉄条網を設置。	500,000
6	小森原野組合（西原村）	◇熊本地震により寸断された小森原野内の牧道復旧工事 ・牧道の生コン打設工事 220m ・牧道の補修工事 約4km	500,000
7	出の口牧野組合（西原村）	◇熊本地震及び大雨により被災した出の口牧野内の復旧工事 ・餌場・水飲み場周辺の生コン打設工事 460㎡ ・牧柵補修費用 約2km	500,000
合計			3,301,720

緊急支援も含め、第1弾から第7弾までの助成実績は以下のとおりです。

■第1弾～第7弾助成の実績（総額と活動種別 ※第7弾は見込み額）

助成時期 ()内は活動年度	助成総額 (円)	繁殖あか牛導入		野焼き再開		野焼きボランティア運営管理	その他※1
		頭数	助成額	面積	助成額	助成額	助成額
第1弾(H23年度)	11,475,104	85頭	5,100,000	20ha	1,150,000	3,500,012	1,725,092
第2弾(H24年度)	11,956,909	82頭	4,920,000	18ha	1,200,000	3,500,000	2,336,909
第3弾(H25年度)	13,641,504	59頭	3,540,000	45ha	1,500,000	6,000,000	2,601,504
第4弾(H26年度)	10,152,683	61頭	3,660,000	30ha	800,000	3,500,000	2,192,683
第5弾(H27年度)	10,929,890	57頭	3,420,000	10ha	900,000	3,500,000	3,109,890
第6弾(H28年度)	8,400,281	73頭	4,380,000	9ha	450,000	2,000,000	1,570,281
第7弾(H29年度)※2	9,501,720	70頭	4,200,000	—	0	2,000,000	3,301,720
第1弾～第7弾計※4	76,058,091	487頭	29,220,000	132ha	6,000,000	24,000,012	16,838,079
助成額の割合	100.0%		38.4%		7.9%	31.6%	22.1%

※1：「その他」は、牧野維持管理、生物多様性、草原環境学習に係る活動

※2：第7弾は、見込み額

※3：第7弾の「その他」は、緊急支援の助成額（見込み）

※4：第1弾～第7弾の計は、見込み額を含む

◇阿蘇草原再生千年委員会《ステージⅢ》スタート

阿蘇草原再生千年委員会は、阿蘇草原再生協議会の活動を応援するために、熊本県知事をはじめ、国・行政、学識経験者、経済界、報道機関、市民団体など各界代表者により平成22年10月に発足。平成25年度から3年間は《ステージⅡ》として、九州ワイドな取り組みを目指して活動が進められてきました。

そして、平成29年7月より3年間《ステージⅢ》としてあらためてスタートしました。阿蘇を「九州の阿蘇」と位置づけ、熊本地震からの阿蘇の復興と、世界文化遺産登録加速化に向けて応援していきます。

阿蘇草原再生千年委員会《ステージⅢ》

構成委員

(委員長) 元熊本学園大学学長	坂本 正	熊本商工会議所会頭	田川 憲生
熊本放送代表取締役社長	秋岡 廣宣	生活協同組合連合会グリーンコープ連合会長	
九州観光推進機構会長	石原 進		熊野千恵美
熊本朝日放送代表取締役社長	磯松 浩滋	NHK熊本放送局局長	山下 毅
九州商工会議所連合会会長	磯山 誠二	阿蘇市町村会会長 小国町長	北里 耕亮
農林水産省九州農政局局長	金丸 康夫	九州経済連合会名誉会長	松尾 新吾
熊本市長	大西 一史	熊本県民テレビ代表取締役社長	片岡 朋章
肥後銀行取締役頭取	甲斐 隆博	(株)テレビ熊本代表取締役会長	本松 賢
熊本県知事	蒲島 郁夫	前阿蘇草原再生千年委員会委員長	
西日本新聞社代表取締役会長	川崎 隆生	《ステージⅠ》米澤 和彦	
熊本日日新聞社代表取締役社長	河村邦比児	事務局：(公財)阿蘇グリーンストック	
環境省九州地方環境事務所長	北沢 克巳	理事長 佐藤 義興	
阿蘇草原再生協議会会長	高橋 佳孝	副理事長 山内 康二	

2017(平成29)年7月現在
(委員長以下の委員は五十音順、敬称略)